

《担当者名》吳 秀娟（非）

【概要】

ゼロからの学習者を対象とする。中国語の発音とその表記法（ピンイン）を学び、特に四声に関して、徹底した指導を行なう。その際、学習者に苦手意識を持たせぬよう、日常に役立つフレーズや文法事項を分かり易く解説しながら、学習者が中国語を話すことに楽しさを感じられるよう留意する。また、語学的指導以外に、日本と中国の文化や習慣の違いなどについても、両者を比較しながら紹介してゆく。

【学修目標】

- 1) 中国語の発音とその表記法を理解し、初步的な会話ができるることを目標とする。
- 2) 中国語の初步的な語彙や文法、表現法を理解し、身につけることを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	中国語とは？	吳 秀娟
2	発音	声調（四声）の発音 / 軽声の発音	吳 秀娟
3	発音	单母音の発音 / 複母音の発音	吳 秀娟
4	発音	子音の発音（1）/ 簡単な挨拶	吳 秀娟
5	発音	子音の発音（2）/ 挨拶言葉（1）	吳 秀娟
6	Aの部分	声調記号の付け方 / nとng発音 / 三声の変調	吳 秀娟
7	Bの部分	数字（0～10）/ 数詞述語文 / 疑問詞疑問文	吳 秀娟
8	Cの部分	人称代名詞 / 動詞述語文 / 助詞「的」 / 助詞「吧」	吳 秀娟
9	Dの部分	名前の聞き方・答え方	吳 秀娟
10	昼食会 のA	指示代名詞 / 形容詞述語文	吳 秀娟
11	昼食会 のB	諾否疑問文 / 否定を表す「不」の変調	吳 秀娟
12	昼食会	正反疑問文 / 選択疑問文 / 名詞句 / 挨拶言葉（2）	吳 秀娟
13	昼食会 のA	親族名称 / 所有を表す動詞「有」	吳 秀娟
14	昼食会 のB	年齢の聞き方 / 数字「一」の変調 / 数字（10～99）	吳 秀娟
15	まとめ	前期の総復習	吳 秀娟

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験60%、平常点（授業への取り組み・小テストや課題の成績など）40%

【教科書】

董燕・遠藤光暉著『ともだち・朋友 スリム版1』（朝日出版社）

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介・説明する。

【備考】

基本的に教科書に沿って進むが、適宜プリントも配布する。

中国の伝統文化や現代中国事情についても、映像資料を使用しながら適宜紹介する。

Google Classroom を利用して学習課題を提示する。

【学修の準備】

各回授業外学修時間は変わるが、平均すると各回60分程度の予習・復習が必要である。授業で習った単語・表現は、教科書付属の音声ファイルを活用しながら復習すること。

【ディプロマポリシーとの関連性】

- (DP5) 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。
- (DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
- (DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。